

◆◆◆授業づくりの主張◆◆◆ 「伝え合う」部会

**伝え合いたくなる
教材化をめざして**

～言葉の力をつけるために～

新指導要領が完全実施され、教科書が新しく変わった。2年生になり、教科書の言葉がわからず解決できないという言葉が出てきた。「時刻・時間・とき」の違いは？「8時に着くには、おそくとも家を何時に出れば…」言葉の理解につまづき、全体で立ち止まることがあった。「一の位」「十の位」「くり上がり」「くり下がり」という大事な言葉等を理解する上でも今日の「キーワード」と銘打って、意識して使わせるようにしている。

この単元「分数」は、従来の教科書の4年生からおりてきた学習である。分数は理解が難しい内容なので、低学年のうちから触れさせ、スパイラル的に指導していこうとする意図がある。2年生なので過度の負担になりすぎないように、教え込みにならないよう、折ったり切ったりという算数的活動を通して理解を深めたい。

2年生での分数では、量分数ではなく、分割分数で指導する。そこで、生活の中で活動しながら学習できるものとして折り紙を取り入れてみた。

初めて学習する分数の概念について、直接的な既習がないため、どう「半分」ということを表現してよいかわからない子どももいると予想される。今までの経験や1年生のときの「ひろさくらべ」や「三角形と四角形」の学習を生かして、自分なりの言葉をつかって表現させるようかかわっていききたい。

本時はまた、友達と交流する活動を取り入れながら、友達の言ったことをもう一度自分の言葉で言う。折り紙でつくったことを言葉でも表現し、友達に伝えることで「分数」について学びを確かなものにしていく課題解決のための交流にしていききたい。

**伝え合いへの意欲
を高める**

～子どもから生まれる
「問い」をめざして～

自分の授業における課題として「問い」からの学びというのがある。既習との違いを意識させることや考えや答えの多様性を表出することで「あれ？」という場面を強調するようにしている。

本時では、導入で、もようくじの「あたり」「はずれ」についてどうして「あたり」なのか、「はずれ」なのかを考え、面積が狭い、広いというところに着眼し、半分の広さのものが「あたり」ということに気付かせていきたい。半分の面積のものが「あたり」ということから、 $\frac{1}{2}$ の概念に迫っていききたい。

しかし、本当に「半分」なのかわからない。確かめるにはどうすればよいか、一人一人折り紙等で活動し確かめた後に、二人ペアの交流をさせていく。

「半分」という言葉を子どもたちなりの言葉で説明させた後、 $\frac{1}{2}$ の学習から $\frac{1}{3}$ 、 $\frac{1}{4}$ の学習へつなげたい。

もちろん、「もとの大きさ」ということが大事であるが、分数の定義付けは3年生からであるので「2つに分けたうちの一つ」ということを印象付けたい。

**伝え合う力を
育てるために**

～小交流を積極的に
取り入れながら～

全体交流の前に、自分の考えを相手に伝える「ペア交流」は、たびたび取り入れてきたが、今までは1時間に1場面の小交流というのが多かった。言葉の力をつけるためには、子どもたちの育ちを伺いながらも、1時間の中でも、積極的にさせていきたいと考え始めている。

わからないところを「ここがわからない。」と言えたり、学習内容によっては、相手のよいところをみつけて感想を言ったり、こうしたらよいとアドバイスをしたり、自分の友達と同じ・違うということが言えたり、二人の考えを一つにまとめたりということができるようになってきてはいるが、まだまだ、育てている途中である。

話し方、聞き方を大事な学習の基本の姿として、色々な友達の考えにふれ、お互いの学びを高められるようになってほしい。

本時は、直接的な既習がない2年生の分数の学習であるため、今までの学習経験をふりかえられるようにかかわりながら、ペア交流、全体交流の中から、 $\frac{1}{2}$ について「2つに分けたうちの1つ」ということに迫っていき、分数は楽しいというイメージをもたせたい。

◆◆◆本時について◆◆◆

(1)本時の目標(1/2)

- ・折り紙の大きさの1/2について言葉で表そうとしたり、友達と伝え合ったりしながら表すことができる。
- ・分数の大きさについて、もとの大きさや分けた大きさはすべて等しいことに着目して考えることができる。

(2)本時の展開

おもな学習活動と児童の思考の流れ	教師のかかわり
<div data-bbox="284 432 1010 517" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> もようくじをしよう。 どのもようが「あたり」かな？ ①はあたりだよ。 </div> <div data-bbox="209 546 1110 815" style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: right;">*②の内側縦線は無し</p> </div> <p>◇どうして、〇〇さんは〇ばんを「あたり」と思ったのかな？</p> <p>< ペア交流① > …広い狭いについて考えさせ、「半分」ということにつなげたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・せまいから。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・三角形だから。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・黒のところが多いから。 </div> <p>◇①と⑥は「あたり」だよ。もう「あたり」はないかな？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> ・半分の広さの模様が「あたり」だ！ </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> ②も半分じゃないかな？ </div> <p>◆ネームカードで②が「あたり」か「はずれ」か自分の考えを位置づける。 ◇本当に②も半分の模様かどうか確かめるためにはどうしたらよいか？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> ・切って重ねてみる。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> ・折ってみる。 </div> <p>◇模様の折り紙で実際に確かめてみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> ・ぴったり重なったよ。 </div> <p>< ペア交流② > …確かめた方法を伝える。</p> <p>◇どうやってやってみたか友達と交流しよう。 ◇半分って何をくわしくお話できるかな？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・2つのものが同じということ。 ・同じ大きさに2つに分けて、その片方の模様のこと。 </div> <p>< ペア交流③ > …1/2についての概念を確かめるものにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 同じ大きさに2つに分けた1つ分をもとの大きさの二分の一と いうて、1/2と書くよ。 ①、②、⑥のような大きさを1/2というよ。 </div> <p>◇今の〇〇さんの説明を隣の人にしてみよう。 ◇学習をふりかえる。</p>	<p>○課題をとらえる。 ○1辺15cmくらいの正方形の模様のカードを用意し裏には「あたり」「はずれ」を書いておく。「あたり」「はずれ」はわからないように全て模様を表にして掲示する。模様は左から塗っていったことを知らせる。 ○7種類の模様がかいてあるワークシートを配付する。 ○今日のくじびきは教師が引くこととする。 ○①は「あたり」として提示する。2枚目からは子どもに予想を言われる。 ○2枚あたりが出たところで3枚目のあたりカードについて考える。 ○半分かどうか確かめる方法を考えさせる。 ○②の模様のついた紙を配付し、半分かどうか確かめる活動をさせ、友達に方法を伝える。</p> <p>○子どもたちの言葉で1/2についてまとめ、自分の言葉で友達に伝えることで確かなものになりたい。</p> <p>○折り紙で1/2の考えを生かして時間があれば1/4についてふれ、次時につなげたい。</p>